

令和8年度 第31回我孫子近隣交流少年野球大会

＜大会競技規則＞

- ① 「2026年度公認野球規則」、全日本軟式野球連盟「2026年度競技者必携」の『学童野球に関する事項』及び「本大会特別規則」を適用する。
- ② 使用球は全日本軟式野球連盟公認「ケンコーボール・J号球」とし、バットは「JSBB」マーク入り（全軟連公認）のものに限る。（注：試合球は本部で用意、ロージンはチームで用意）
- ③ ヘルメットは、「JSBB」マーク入りを最低9個用意し、打者・次打者・走者・ランナーコーチ、ボールボーイ、バットボーイは必ず着用すること。
- ④ 捕手は、「JSBB」マーク入り捕手防具（ファールカップを含む）をかならず着用すること。
- ⑤ 出場する指導者および選手は必ず(財)スポーツ安全保険に加入のこと。

＜大会特別規則＞

- ① ベンチは若番が一塁側、攻守の決定は球審立ち会いのもと両チームの主将によるジャンケンとする。
- ② シートノックは5分間とする。ただし、ゲームの進行状態によっては行わない。
シートノック中は、キャッチャーは防具を着用し、キャッチャー補助者もヘルメット着用とする。試合前の練習では、トスバッティングだけで、フリーバッティングは禁止する。
- ③ ベンチ入り選手は、9名以上20名以内とする。指導者は監督・コーチ2名以内とし、代表者・介護員2名以内・スコアラー1名の7名以内とする。ただし、ベンチ入りの他の者がスコアを記す時は、スコアラー資格者のベンチ入りは認めない。また、代表者の代理は認めない。なお、選手及び監督・コーチは同一意匠のユニフォームを着用すること。帽子、ストッキングも同様であるが、スパイクの色は、全員同色でなくても構わない。代表・スコアラー及び介護員は私服を可とするがチーム同一の帽子を着用すること。
また、背番号は、監督30番・コーチ29番・28番・主将10番とし、選手は0～99番とする。
[連合チーム]

「千葉県少年野球特別規則」で定める条件に準ずる。また、元のチームのユニフォーム着用も認める。

- ④ 試合は6回戦とし、1時間30分を越えて新しいイニングに入らず、その回の得点をもって勝敗を決する。同点の場合は時間内であっても、ただちに「特別延長戦」を適用する。決勝戦も同様とする。

[特別延長戦]

打者は継続打順で、無死走者1塁・2塁（走者は順次前打者）にて1イニング行い点数の多いチームを勝者とする。（熱中症対策規定を参照）

[特別継続試合・コールドゲーム]

4回均等回終了前に降雨暗黒等で試合継続が困難と判断した場合、あるいは4回均等イニング以降同点の状態、降雨暗黒等で試合が困難と判断した場合、原則として再試合にしないで、特別継続試合とする。

（競技者必携＝競技に関する連盟特別規則4．特別継続試合に典拠）特別継続試合は、大会日程に沿ってもっとも近い日程の第1試合前に組み入れて実施する事を原則とする。

この場合、試合時間は引き継ぐが投球イニング制限は引き継がない。選手交代等は「競技者必携」の定めるところに従う。4回均等イニングを終了すれば、試合は成立する。

得点差によるコールドゲーム宣言は3回以降10点差、4回以降7点差とする。

なお、決勝戦は得点差によるコールドゲームは採用しない。

打者や走者の負傷により治療が長引くと判断した場合は、「臨時代走」（投手・捕手を除く）を認める。

- ⑤ 投手の投球回数は、特別延長戦を含む1試合最大4イニング（12アウト）とし、1日7イニング（21アウト）とする。
- ⑥ 打者一巡した場合は、給水タイムを取ります。この場合の給水タイムは、試合時間に含む。
- ⑦ 各チームより1名のファールゾーンのパールパーソンをお願いします。
- ⑧ 各グラウンドのローカルルールは、グラウンド責任審判にご確認ください。